

○インスペクターからのコメント(78回)

10年間やってきて、表土移植の効果というのがすごいんだな、ということが印象的でした。今までホタルがいなかったシェルター上に、表土移植によってヒメボタルが住めるようになったというのは、大きな成果です。今後の工事は分かりませんが、我々の活動結果を見て、建設を進めても、その後の対策をきちんとやっていけば、評価されるような道づくりが出来るのではないのでしょうか。

岡村
インスペクター

10年間という非常に長い間続けてきたということ、それだけで非常に意味があり、大変重要なことです。本来なら専門家がやるべき調査をやり、その成果をきちんと出してきただけですから、この10年間の皆さんの努力というのは、これからの道づくりにとっても非常に価値のある活動です。これからも、続けていきましょう。

大竹
インスペクター

この10年間の活動の中には、楽しいこともあって、ヒメボタルがちゃんと毎年見られることもその一つです。今年も、2月からの温度等でヒメボタルのピーク日を予測していきます。既に、着実に次のシーズンが来ていると感じます。自然は待ってくれないので、新しい一歩に向けてまた準備していきましょう。変えたところは元に戻しつつ、道は維持しつつ、というようなやり方で再生していくことが、ひいては生物多様性を守って良い環境の街にしていこうと思っています。

長谷川
インスペクター

●第78回施工ワーキング

平成25年3月10日（日）に第78回施工ワーキングを開催し、27名が参加しました。

平成24年度は、施工ワーキングの開始から10年目にあたるため、今回は、施工ワーキング全体でこれまでに検討してきたことや、各グループの活動で取り組んできたことについて整理し、発表会を行ないました。これまでの活動を確認したうえで、11年目からの活動につなげる機会になりました。

《特集！》
ロードキル対策
～エコトンネル～ p.2～3

第78回 プログラム

1. 前回の確認
2. 学びの時間
3. 維持管理工事のお知らせ
3. グループ活動
4. グループ活動発表会



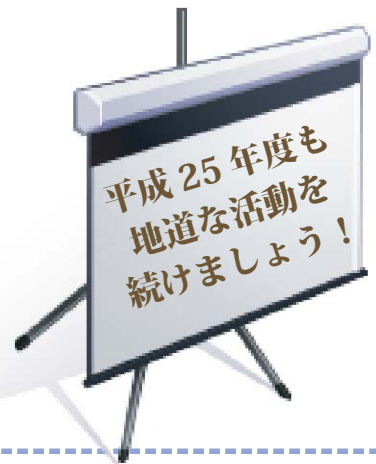
グループで確認したこれまでの活動のまとめと今後の活動について、発表会を行ないました。



平成24年度1年間、これまでの10年間、お疲れさまでした。



他のグループの活動も整理して理解することができました。少しずつではありますが、結果も出てきていることが分かりました。



11年目からもすべきことがたくさんありますね！



問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課内 「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話：052-972-2873 FAX：052-972-4168

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-7-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

◇グループ活動 ～10年間の活動&平成24年度の活動を振り返って～

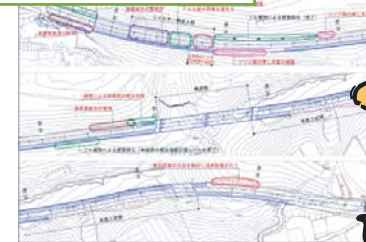
これまでの施工ワーキングで行ってきたグループの活動を振り返り、今後の課題や続けていきたい活動などについて話し合いました。

植物グループの調査概要

- 調査項目
 - ・コドラート調査2005～2006～
 - ・定点写真調査（林縁部）2005～2007～
 - ・定点写真調査（道ぎわ）2005～2007～
 - ・根株移植（ヤマザクラ）定期調査2005～
 - ・壁面緑化・植生回復調査 2011～
- 目的
 - ・道路工事が周辺樹木の植生に与える影響の把握
 - ・工事後の林縁部（工事影響部）植生回復状況の把握



今後の活動予定



施工グループの活動まとめ

- ★平成24年度 施工グループ活動の総括
 - ◆地下水位と湧水量の観測
 - ⇒昨年と比べて、大きな変化はなかった。
 - ⇒引き続き、モニタリングが必要です。
 - ◆シェルター上部の水位観測
 - ⇒昨年と比べて、大きな変化はなかった。
 - ⇒引き続き、モニタリングが必要です。
 - ◆簡易ダムづくり（いのちの谷）
 - ⇒草木が少いため、次年度も対策が必要です。
 - ◆沢すじの浸食状況の観測
 - ⇒引き続き、モニタリングが必要です。
 - ⇒豪雨後など状況に応じて、横断測量を行います。

今後も継続していくモニタリングがたくさんあります。

平成24年度施工グループの活動まとめ

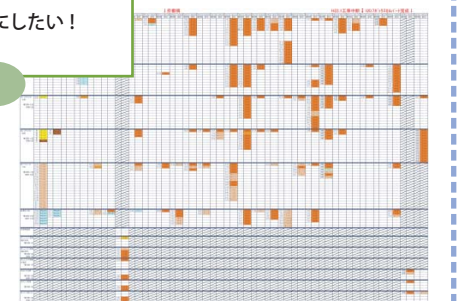


森を育てるには、とても長い年月が必要です。来年度も季節ごとに必要な植栽・間伐などの作業やモニタリングをしていきます。

動物グループセンサーカメラ調査の目的

- ◆相生山に棲んでいる生きものが知りたい！
- ◆どこにいるのか知りたい！
- ◆動物の生活と道路との関係は？
- ◆指標動物の森の状況を見守りたい。
- ◆影響があるなら、最小限にしたい！

相生山の生きものたちの変化をこれからも見ていこう！



4. 交通グループ5年間の歩み



道路や交通に係わる様々な課題に取り組んできました。

